

	チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	わからない	ご意見	ご意見をふまえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	8	0	0	0		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	8	0	0	0		
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境iになっているか。また、障がい者の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	8	0	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	8	0	0	0		
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画iiが作成されているか	7	0	0	0		今後も引き続き、ご本人とご家族からのアセスメントをもとに、課題分析しながら計画を作成していきます
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7	0	0	1		ご本人の発達に合わせた、ご家庭での支援、幼稚園や保育園などでも般化できるように、計画の作成、共有を行っています
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	8	0	0	0		
	8 活動プログラムiiiが固定化しないよう工夫されているか	7	1	0	0		毎回、決められたプログラムを実施していますが、個々の特性や、好きなものを活用しながらプログラムを提供してまいります
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	1	0	5		子ども同士の地域交流は行っていませんが、療育の共有や、子育てサロンの開催し、地域交流を図る機会を設けています
適切な支援の提供	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	8	0	0	0		
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	7	0	0	1		
	12 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニングiv等）が行われているか	7	0	0	0		
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができてきているか	8	0	0	0	オンラインで気軽に相談できて良い	LINEを活用し事前にご相談いただけることで、より充実した療育の提供ができません

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見をふまえた対応
			はい	どちらとも いいえ	いいえ	わからない		
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	8	0	0	0		
適切な支援の提供	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	2	0	1		月に1回程度、オンラインにてミニセミナーや懇親会、不定期で子育てサロンなども開催しております。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	8	0	0	0		
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	8	0	0	0		
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	7	1	0	0		
	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	8	0	0	0		
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	1	1	0	6		適宜、非常時における対応などをLINEでお知らせさせていただいております マニュアルについては、順次、LINEのメニューより共有できるように設定してまいります
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	0	1	0	7		非常時に備え、緊急ダイヤル訓練や避難所の確認、室内の安全点検など、適宜行っています
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	7	1	0	0		引き続き楽しんで活動できるよう、スタッフ一同工夫してまいります
	23	事業所の支援に満足しているか	8	0	0	0		引き続き、専門性の向上に努めていきます

i 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

ii 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

iii 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障がいの特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

iv 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。